



2017年2月25日(土) 矢倉岳 (870m)

Report by Kumamoto

昨年の秋10月に登り、山頂からの富士山、相模湾の眺望が良く、登山道も厳しいところはなく、積雪時期に是非登ってみたいと思い今回、矢倉岳(870m)を企画した。

参加者は、小山さん、布目さん、石井さん、吉松さん、堀さん、能勢さん、池戸さん、前日急遽参加を申し込んだ根岸さんと熊本の計9名となった。



今回のハイキングコースは、矢倉沢バス停から矢倉岳山頂(870m)を目指し、山頂で昼食を取って、山伏平から地蔵堂へ直接下る最短コースにした。



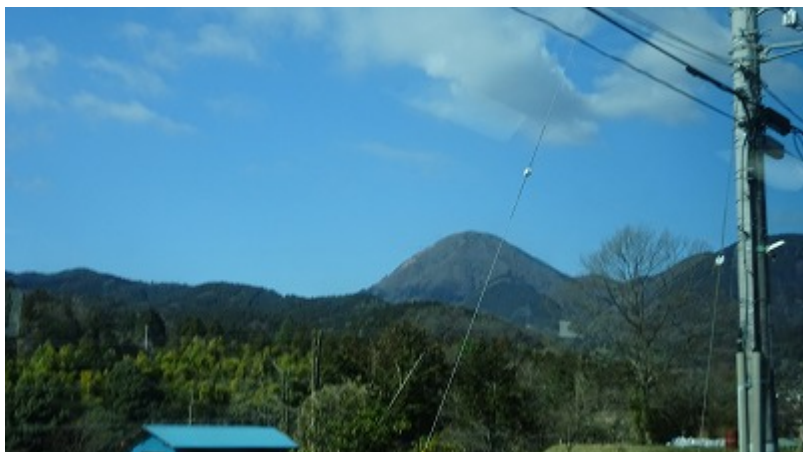
新松田駅に8:50集合で、箱根登山バス1番乗り場から、9:10発の関本経由地蔵堂行のバスに乗る。



箱根登山バス 1 番バス乗り場で、9:10 発のバスを待つ



一番前に並んでいたため、最後部に座席を取り全員座れたが、満席で 10 名ほどの立ち人もあり出発した。



30 分程乗り、前田橋を過ぎると前方に矢倉岳が青空に浮かんでいた。
9:40 に矢倉沢バス停に到着し、満員で乗っていた登山客が全員、此処で降りた。



矢倉沢バス停から、右折し 5 分で矢倉沢公民館に着く。ここにはトイレもあり登山準備をする。



登山開始する前に、堀さんの掛け声で、ストレッチ体操で体を解す。(9:50)



9:54 矢倉沢公民館をスタートする。



内川に架かる新前田橋から見る矢倉岳



橋を渡ると新築の一軒家の壁に「矢倉岳ハイキングコース」と書いてあった。



暫く進むと、ペアの道祖神があった。安曇野地方では良く見かけるが関東では珍しい。



更に進むと、白山神社の前に出た。(10:00)



風がなく暖かく、上着を一枚脱ぎ、体温調節する。



早咲きの桜



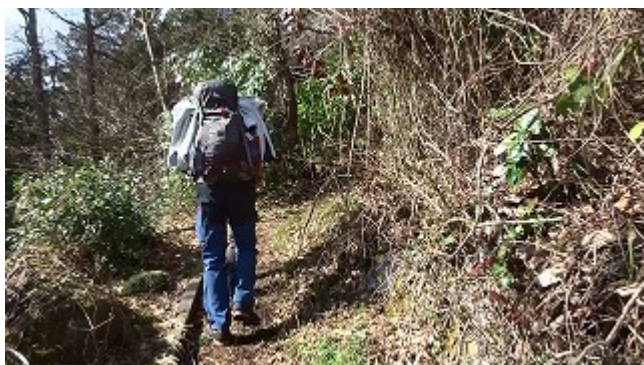
次に白梅が現れた



暫く舗装林道の緩やかな登りが続く。



茶畑に出るとイノシシ被害対策用のゲートがあり、潜り抜ける。



10:25 歩き始めて 30 分経過し舗装林道から、やっと細い道幅の山道に入った。



10:45 歩き始めて丁度 1 時間経過し、最初の休憩を取る。
この後は急登の連続となり、暑さに弱い布目さんが徐々に遅れ始める。



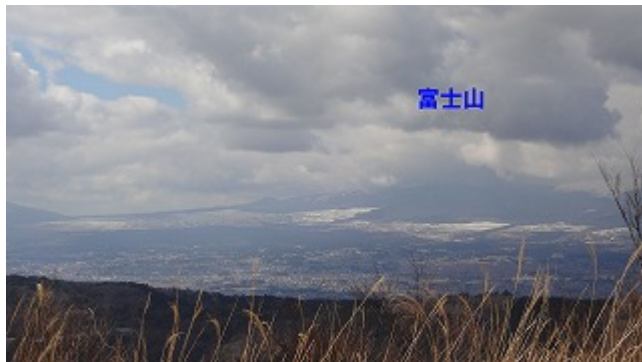
急登が続き、汗をかきながら登るが、なかなか山頂に
辿り着かない。



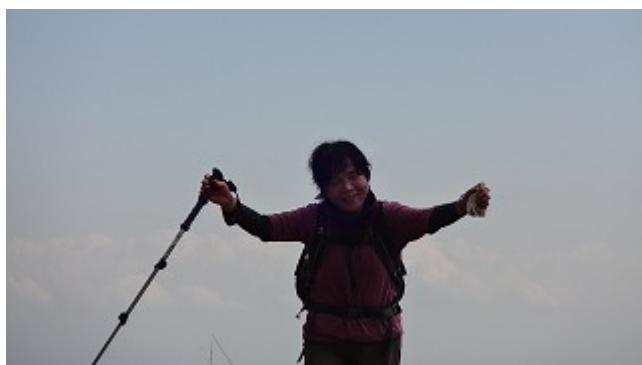
降雪の跡が見えると、前方が明るくなり山頂が目の前に迫った。



11:30 870m の矢倉岳山頂に到着。山頂からは大展望が開けていた。



残念ながら富士山は雲の中で姿を現さなかった。



昼食を始めて、15分遅れで、布目さんがヤット到着し、揃って一緒に昼食をとった。



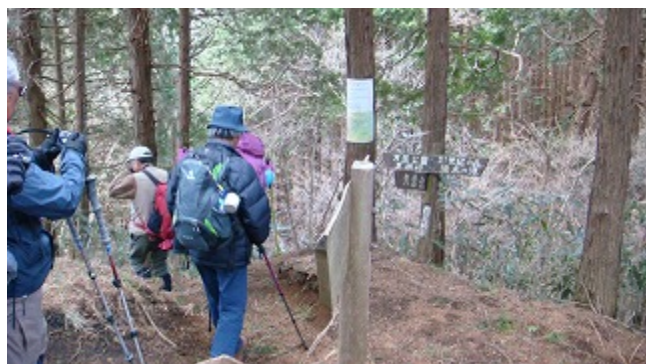
11:40 昼食 小山さん、布目さんが持ち込んだ美味しい惣菜を頂く。 毎回有難う！



12:06 昼食後、山頂標識を囲み、金時山をバックに集合写真を撮る



12:10 下山開始。下山コースは富士山を正面に見ながら山伏平へ・・・



12:22 山伏平に到着する。昨年秋の時は、ここから足柄万葉公園に向かった。



冬季は万葉公園・地蔵堂間のバスが運行停止で舗装道路を 70 分歩くのは厳しいため、山伏平からショートパスで、直接、地蔵堂へ下るコースを取ることにした。花粉を付けた杉林を淡々と下る。



最短コースの下りで結構勾配は厳しい。





山頂から下り初めて約 1 時間経ち、沢を渡る。(13:15)



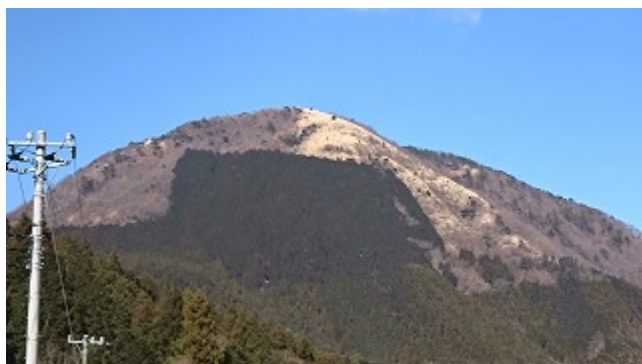
13:25 周囲が茶畑の開けたところに出た。もう地藏堂は近い。



13:30 舗装道路に出ると地藏堂バス停への近道があった。



13:35 地藏堂バス停に到着。次のバスは 14:25 で 50 分の待ち時間がある。



蕎麦を食べたり、ミカンを土産に買ったり、ストレッチを行ったりして、振り返れば今降りてきた矢倉岳が



14:25 のバスで新松田駅へ行き、15:09 の小田急で鶴巻温泉へ



日帰り温泉「弘法の里湯」は結構混んでおり、大広間や浴槽も満員の盛況ぶりで、個室（¥2000/2 時間）を借りて、二時間弱、入浴休憩して帰路に着きました。富士山は最後まで姿を現しませんでした。暖かい春の陽ざしを浴びながらのハイキングでした。